



「楽しい」をたくさん抱えて、大人になろう。  
 夢中になろう。そのまっすぐなまなざしで、  
 遊んで、作って、試して、飾って、勉強して：  
 ここではやりたいこと、とことんやろうよ。  
 ときには子どもの目線で、と  
 こだわりの部屋。  
 きっかけ作り、仕掛け作りは大人の仕事。  
 あとは子どもたちが想像以上の  
 スペシャルワールドに仕立ててくれる。

子どもの瞳は不思議だ。  
 何かを真剣に見つめる時、  
 他の物事は入ってこない。  
 小さなジオラマに向き合ったり  
 お気に入りの図鑑を延々とめくったり：  
 彼らはその世界に入り込み、  
 モノ言わぬ物に命を吹き込み、  
 たくさんの時空を行ったり来たり。  
 勉強なの？遊びなの？  
 「好き」に向かうエネルギーって、すごい。

# The moment of mjuk!

—あなたが輝く時間を、mjukと呼びます—



「子どもみたいだね」は  
 誉め言葉だと思っている。

